

高校地理プリント（過去問類似）

人口・都市・生活文化 No.2

名前

得点

/9

問1 北アフリカのチュニスなどに代表される伝統的なイスラーム都市の旧市街（メディナ）において、外敵からの防衛や強い日差しへの遮断、居住者のプライバシー確保などの目的から形成された、不規則に屈曲した細い道路や行き止まりが複雑に入り組んだ街路パターンを何というか。（2009年 全国公立入試 類似）

1. 放射状街路 2. 直交型街路 3. 迷路型街路 4. 格子状街路

問2 日本において、人口の急激な減少と高齢化の進行により、地域社会の維持や生活機能の確保が困難になった状態、あるいはその地域を指す言葉を何というか。こうした状況にある地域や島嶼部では、本土の大都市へのアクセスが困難なため居住する市町内で日常の購買行動を行う割合が高くなる傾向がある一方、児童数の減少により小学校において異なる学年の児童を1つの学級に編制する割合が高くなり、さらに医療資源の偏在から人口当たりの医師数が少なくなるなどの社会的特徴が見られる。

（2017年 全国公立入試 類似）

1. 流入 2. 過密 3. 流出 4. 過疎

問3 東南アジアに位置し、仏教信仰が深く根付いた国であり、指先を美しく反らせる独特の所作を特徴とする宮廷舞踊や、伝統的な影絵芝居などの豊かな民族文化を保持している国の名称を答えよ。（2008年 全国公立入試 類似）

1. タイ 2. ビルマ 3. ブルネイ 4. ラオス

問4 日本の地方都市周辺では、計画的に整備された新興住宅地がみられる一方で、都市の急速な拡大に伴い、十分なインフラ整備が行われないまま農地などが虫食い状に宅地化され、道路の狭隘化や防災上の課題を抱える無秩序な市街地が形成されることがある。このような都市の無秩序な拡大現象を何というか。（2016年 全国公立入試 類似）

1. スプロール現象 2. ドーナツ化現象 3. ヒートアイランド現象 4. ストローク現象

問5 日本の伝統的な民家において、床を張らずに地面と同じ高さのまま仕上げられた屋内空間を何というか。ここには「かまど」などの調理設備が置かれ、炊事や農作業などの作業を行う場として、家族の生活や食習慣を支える中心的な役割を果たした。

（2024年 全国公立入試 類似）

1. 縁側 2. 座敷 3. 板間 4. 土間

問6 トルコのアナトリア高原に位置するカッパドキア地方では、火山灰が堆積してできた柔らかい岩石をくり抜いて、夏に涼しく冬に暖かい住居が作られてきた。この住居の形成に深く関わっている、加工しやすい特徴を持つ岩石の名称として最も適切なものを答えよ。（2016年 全国公立入試 類似）

1. 石灰岩 2. 角礫岩 3. 粘土岩 4. 凝灰岩

問7 ヨーロッパ諸国による植民地支配は、被支配地域の文化や社会に大きな影響を与えた。旧宗主国と旧植民地の間で主要な信仰宗教が共通している事例として、かつてスペインの支配を受け、現在もキリスト教のカトリックが広く信仰されている南米の国が挙げられる。この国はどこか。（2019年 全国公立入試 類似）

1. パラグアイ 2. ベネズエラ 3. アルゼンチン 4. ウルグアイ

問8 1990年代初頭のソビエト連邦崩壊という劇的な国家体制変革の後、ロシア連邦からの完全な独立を求めて、カフカス地方のイスラーム教徒を主体とする地域で激しい民族運動が展開された。これに対し、ロシア連邦政府が軍事介入や治安維持を名目とした弾圧を行ったことで、泥沼の戦闘へと発展し、周辺地域へ多くの難民や国内避難民が流出する事態となった。この一連の武力衝突を何というか。（2011年 全国公立入試 類似）

1. ダルフール紛争 2. ボスニア紛争 3. チェチェン紛争 4. ルワンダ紛争

問9 南アジアに位置し、ヒन्दゥー教徒が多数を占める国では、公衆衛生の向上や女性の安全確保、ジェンダー格差の是正を目指し、国家的な規模で衛生的なトイレの設置・利用促進事業が推進された。この事業は感染症の予防などに寄与したものの、同国が抱える過剰な人口増加の抑制には直接貢献しなかった。この国はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ネパール 2. ブータン 3. インド 4. パキスタン

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 3 迷路型街路	イスラーム都市の旧市街（メディナ）では、自然発生的かつ有機的に都市が拡大した結果、不規則で細い道路や行き止まりが多く見られる。この街路パターンは、強い日差しを遮る日よけ効果や、外部からの見通しを遮ることでプライバシーを保護する役割、さらには外敵の侵入時に見通しを悪くして防衛しやすくする役割を果たしている。これに対し、近代以降に計画的に建設された都市では直交路型や放射環状型の街路パターンが一般的である。
問2	答え 4 過疎	人口の急激な減少と高齢化によって地域社会の維持が困難になる現象を過疎と呼ぶ。過疎地域や離島では、本土や大都市への移動に時間と費用がかかるため、島内や町内での買い物割合が高くなる。また、少子化に伴う児童数の減少により、小学校で複数の学年を一つの学級にする複式学級の割合が高くなる。一方で、高度な医療機関は大都市圏に集中するため、人口当たりの医師数は大都市に比べて少なくなる傾向がある。
問3	答え 1 タイ	指先を反らせる優雅な所作を特徴とする伝統舞踊は、タイの宮廷舞踊（コーンやラコーンなど）や民俗舞踊に見られる代表的な文化である。タイは上座部仏教が広く信仰されており、舞踊や芸術も仏教説話やインドの叙事詩『ラーマーヤナ』の影響を強く受けて発展してきた。
問4	答え 1 スプロール現象	都市の急速な拡大期において、計画的な都市計画や区画整理が行われないまま、郊外の農地や山林が虫食い状に開発されていく現象をスプロール現象と呼ぶ。これにより、道路などの公共インフラの整備が追いつかず、景観の悪化や防災面での脆弱性が生じる。これに対し、計画的に開発された新興住宅地では、電線の地中化や整然とした街路が形成される。
問5	答え 4 土間	日本の伝統的な住居において、屋外から靴を履いたまま立ち入ることができる作業スペースである。ここには食事を準備するための「かまど」が設置され、台所としての機能を持つとともに、農具の整備や収穫物の加工などを行う多目的な空間として機能した。家族構成や共同体の共同作業のあり方と密接に結びついた、日本の伝統的な生活文化を象徴する構造である。
問6	答え 4 凝灰岩	カッパドキア地方では、火山活動によって堆積した火山灰などが固まってできた凝灰岩が広く分布している。凝灰岩は比較的柔らかく、道具を用いて容易に削ることができるため、人々は奇岩をくり抜いて住居や教会、地下都市などを建設し、厳しい気候をしのぐ生活空間として利用してきた。
問7	答え 3 アルゼンチン	スペインの植民地であったアルゼンチンでは、宗主国の影響を強く受け、現在でもキリスト教のカトリックが広く信仰されている。一方で、イタリアの植民地であったリビア（イスラム教）、オランダの植民地であったインドネシア（イスラム教）、フランスの植民地であったベトナム（仏教など）のように、植民地支配を受けながらも旧宗主国とは異なる宗教が多数派を占める国々も存在する。
問8	答え 3 チェチェン紛争	1991年のソ連崩壊後、ロシア連邦内のチェチェン共和国では、独立を求める武装勢力と、連邦の分裂を阻止しようとするロシア政府との間で、1994年以降に二度にわたる大規模な武力衝突が発生した。この紛争では、ロシア軍による激しい空爆や掃討作戦が行われ、首都グロズヌイをはじめとする都市が破壊され、多くの市民が犠牲になるとともに、隣接するイングーシ共和国などへ多数の難民・国内避難民が逃れる事態となった。
問9	答え 3 インド	南アジアのインドでは、2014年から「クリーン・インディア（スワッチ・バールト）」と呼ばれる衛生環境改善事業が推進され、全国で数千万基規模のトイレが建設された。これにより、屋外排泄に伴う感染症の予防や、女性が屋外で排泄する際のリスク（治安上の脅威やジェンダー格差）の軽減に大きな成果を上げた。しかし、この事業は衛生環境の改善を主目的としており、家族計画や出生率の低下といった人口増加の抑制に直接的な影響を与えていない。